

これが 公民館報

第350号

御意見・御希望・お問い合わせは四賀公民館まで… TEL 64-3112

四賀の世帯数・人口

世帯数	1,852世帯
人口	3,945人
男	1,890人
女	2,055人

(令和6年1月1日現在)

新 二十歳 おめでとう



「令和6年松本市ハタチの記念式典」が1月7日(日)にキッセイ文化ホールで開催され、1,736人の新二十歳の皆さんが出席されました。四賀地区からは24人が出席し、祝辞を聞いたり記念写真を撮るなどして、節目の日を祝いました。同級生と久しぶりに会って近況を語り合う姿もあちこちで見られ、笑顔の

新二十歳の方から
メッセージを寄せて
いただきました。

「令和6年松本市ハタチの記念式典」が1月7日(日)にキッセイ文化ホールで開催され、1,736人の新二十歳の皆さんが出席されました。四賀地区からは24人が出席し、祝辞を聞いたり記念写真を撮るなどして、節目の日を祝いました。同級生と久しぶりに会って近況を語り合う姿もあちこちで見られ、笑顔の

中澤 智哉

人に貢献出来るように自分を見つめ直し、今自分に出来る事を考え行動出来る人になります。

坪田 健太郎

電気屋として働いており、早く1人前になれるように頑張りたいです。

柏原 江美

信頼を得られる税理士を目指して日々精進し、社会貢献ができるようにしたいです。

小澤 大志

知見と見聞を広げ、様々な出会いや交流を大切にし、多くを経験すると同時に楽しむ。

武川 歩未

医療従事者として地域に貢献できるように頑張ります。

星を見る観察会

しし座流星群を広々とした球場で観察する催しが、11月18日(土)に信州グリーンローズスタジアム四賀で開催されました。1時間に3〜20個の流星が見られる予定でしたが、当日はあいにくの雨。球場内の会議室に場所を移し、瀧澤輝佳先生を講師に10名が宇宙や流れ星の知識を学びました。



年の始めの書き初め教室

新年恒例の教室が1月5日(金)に支所会議室で行われ、午前午後合わせて19名の小中学生が参加しました。「正月の朝」「強い信念」「生きる力」など新春にふさわしい言葉を選び、講師の小峰眞佐子先生の指導を受けながら、真剣に集中して書き上げていました。



生涯学習フェスティバル

11月25日(土)に支所ピナスホールで開催。太極拳、詩吟、ハンドベル、日舞、合唱、演劇など地区内のサークルが日頃の練習の成果を披露し、約80名の観客がバラエティ豊かな発表を楽しみました。
ラストを飾った福寿草劇団の民話劇「青龍様と天狗」では手作りの大道具や衣裳に加え、方言を織り交ぜた軽妙な演技に観客から拍手や笑い声が沸き起こっていました。





第35回 四賀コンサート



出演者も観客も顔見知りや家族といった近い関係の地元ならではのアットホームな音楽会で、終始なごやかな雰囲気にも包まれていました。

第35回

四賀コンサート

4年ぶりとなる四賀コンサートが11月11日(土)に四賀小学校体育館で開催されました。松本交響楽団の演奏や四賀小学校と会田中学校の児童生徒の合唱「地球星歌」などが披露され、保護者などが400名の観客が熱心に聴き入っていました。



★ 冬の大結ぶ市 クリスマス市

12月9日(土) 今年最後の「大結ぶ市」が40店以上の参加で賑やかに行われました。ピナスホールのステージでは虚空蔵太鼓の演奏や小学生のダンスの披露が行われ、会場を盛り上げました。今回は長野朝日放送の生中継取材が入ったので、テレビを観ながら会場に駆けつけた来場者も多かったかもしれません。



🍷 しの飾り体験学習会

恒例のしめ縄作りは、大結ぶ市と同日にピナスホール内で行われました。講師は高旗覚男さん。参加者は20名でした。



🏠 eスポーツ

12月10日(日)、横川公民館で行われたいきいきサロンにおいてeスポーツの体験会が行われました。eスポーツは性別・年齢等問わず幅広い層の方が楽しめる新たなスポーツです。特に年齢等を理由に今まで楽しんでいたスポーツが出来なくなってしまう方は体験をおすすめしています。サロンでも体験された方や観戦された方の笑顔があふれていました。



🍷 蕎麦打ち講習会

12月2日(土) 本町の大河内さんから蕎麦打ちを学びました。大河内さんは義母様の打つ蕎麦の味に魅せられ奥様のご実家に何度も通い蕎麦打ちを習得したそうです。1時間ほどで見事に打ち上がった蕎麦を参加者11名で美味しくいただきました。



湧き水

▼コロナウイルスから始まり、日本の自然災害(地震、水害) 世界に目を移せば戦争の勃発と何ともやりきれないニュースばかりが飛び交う昨今です。何とか良い

ニュースは聞けないものでしょうか。▼さて、もうすぐ新年を迎えます。我々の町会は来年度役員を刷新しなくてはならない時期を迎えました。どちらの町会もそうだと思いますが人事には悩みます。高齢化と人口の流出と理由は明らかなくともあります。昔は、六十歳の定年を機に町会役員を引き受けてゆく流れができていましたが、昨今は、就労年齢が伸び六十五を超えても就労をしている方が増えました。また、若い方は仕事が多忙を理由になかなか町会活動への参加が難しい状態です。▼我々の町会もご多聞にもれず大変悩ましい事態となっており、改革という名で、大鉦を振り下ろすことが必要と思います。▼考えても、考えても名案は浮かんでこない状態ですが皆さんの町会は昔と比べて変革された点がありますか? 良い案で組織作りができてき新年度を迎えたいものです。